

◆特に注意していただきたいこと

**注意** (取扱を誤った場合、使用者が傷害を負う危険、及び物的損害のみの発生が想定されることを示します。)

- 本製品を家中、テントの中、車の中では絶対に使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠による窒息死のおそれがあります。
- 使用中は本体側面、受け皿が高温になっていますので絶対触らないでください。やけどをするおそれがあります。
- 使用中は本体を持ち運んだり移動させないでください。素手では絶対に触らないでください。
- 炭の火起しの際は、炭がはぜたり火の粉などが跳ぶ場合がありますので、顔や手を近づけないでください。やけどをするおそれがあります。
- 燃えやすいものの近くで使用しないでください。
- 卓上でご使用の際は、ぐらつき、がたつきのないテーブルの上で使用してください。
- 使用中はお子様やペットを本製品の回りで遊ばせないでください。
- 使用後の残り火の始末には十分ご注意ください。完全に燃え尽きたことを確認した後撤収の作業を行ってください。
- 消火のために本製品に水をかけると急激な温度変化により製品が破損、変形するおそれがあります。また、高温の水蒸気が発生しやけどをするおそれがありますのでおやめください。
- 炭の入れ過ぎは、本体や焼き網の変形や変色につながるおそれがありますので必要以上は入れないでください。
- 焼きアミをご使用後は食べ物のカス等をきれいに取り除き、十分に乾燥させた上で食用油を塗った後保管してください。
- 収納ケースに入れる際は本体が完全に冷めた状態で行ってください。やけどや収納ケースの破損の原因になります。
- リフターを使用の際は必ず2本使い、両手で行ってください。
- フタの裏面を鉄板焼きとして使用する際は、カラ焼きをしないでください。表面のフッ素加工が損傷するおそれがあります。
- 焼きアミの上にダッチオーブン等の重い物を乗せないでください。変形、破損するおそれがあります。
- 使用後の手入れ時に、金属製たわし等は使用しないでください。キズがつくおそれがあります。
- 使用前に必ず部品の不足、破損等がないか確認してください。



製造発売元  
**新富士バーナー株式会社**  
 〒441-0314  
 愛知県豊川市御津町御幸浜1号地1-3  
 TEL0533-75-5000(代) FAX0533-75-5033  
 http://www.shin Fuji.co.jp/  
 E-mail: info@shin Fuji.co.jp  
 MADE IN JAPAN



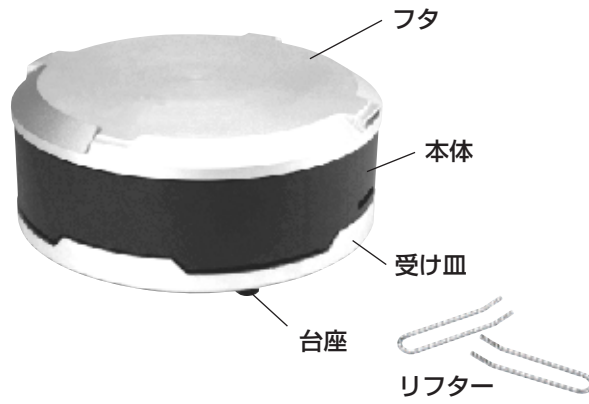
TABLETOP  
**DUAL GRILL**  
 PAT.P

**デュアルグリル ST-930**

**取扱説明書** (生産物賠償責任保険)

このたびは、デュアルグリルST-930をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき大切に保管してください。

■各部の名称



■分解図



■製品仕様

サイズ：直径310X高さ170mm(使用時・3段階調整)  
 : 直径310X高さ140mm(収納時)  
 重量：5kg  
 材質：フタ・本体・受け皿/アルミ casting  
 焼きアミ・炭受け/ステンレス  
 台座/ゴム、リフター/鉄(クロームメッキ)  
 付属品：リフター2個、収納ケース

◆使用方法

■空気孔の確保

本体を受け皿から持ち上げ、回転させることで、空気孔を確保したり閉じたりすることができます。



●空気孔を確保した状態 (炭の火起し時、燃焼時)



●空気孔を閉じた状態 (火消しつぼ機能時、収納時)

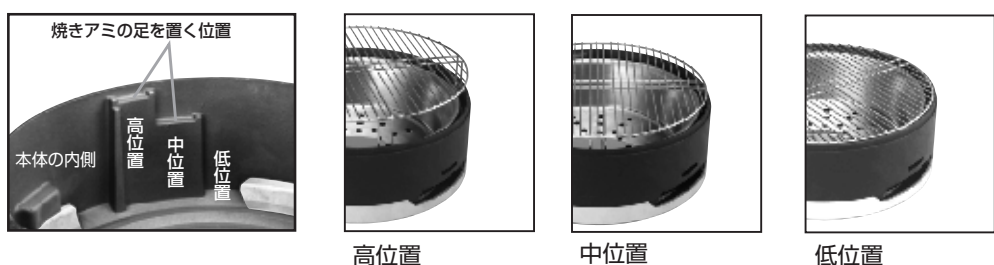
**注意**

**燃焼中の移動禁止**

使用中は、本体を持ち運んだり移動させたりさせないでください。やけどや火災のおそれがあります。

■焼きアミの高さ調整

焼きアミの足を置く箇所を変えることで焼きアミの高さを3段階変えることができます。



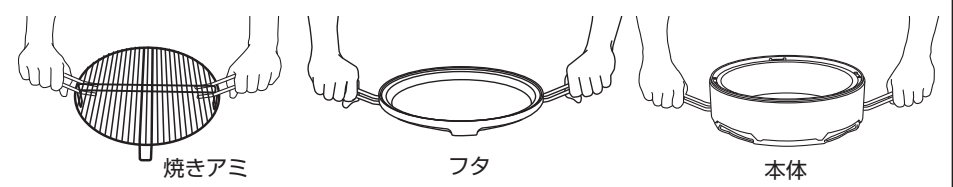
■リフターの使用方法

付属の2個のリフターを使って「焼きアミ」「フタ」「本体」を持ち上げることができます。



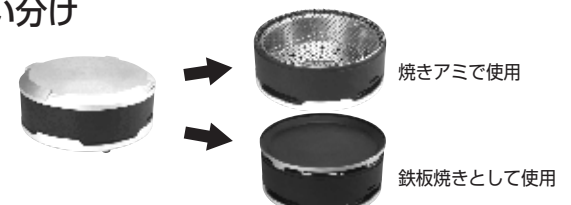
**注意** リフターの使用は必ず2本使い、両手で！

リフターを使って各部を持ち上げる際は下図のように必ず両手で、2本のリフターを使って持ち上げてください。1本のリフターで片手で持ち上がると誤って落下させ、やけどなどをするおそれがあり危険ですのでおやめください。



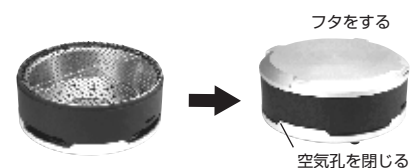
■焼きアミと鉄板焼きの使い分け

本製品は焼きアミを使う方法とフタの裏側で鉄板焼きとして使う方法の2通りの使用ができます。



■火消しつぼ機能について

使用後は炭が燃焼している状態でも空気孔を閉じ、フタをした状態にすると「火消しつぼ」として機能させることができます。 ※約30分\*で消火します。



\*炭火の量、燃焼状態、自然条件により異なります。

**注意** 燃焼中、燃焼直後のフタのしめ方について

鉄板焼きとしてフタを使用した直後に、2本のリフターで持ち上げそのままフタをひっくり返すことはフタを落下させ、やけどなどをするおそれがあり危険ですのでおやめください。

